

国際ジャーナル JOURNAL

THE INTERNATIONAL GRAPHIC JOURNAL

8

Aug. 2009

VOL.27 NO.335

特別企画 —— 地域に生きる

- 企業は人なり～その人物像を探る
- 暮らしを支える医療福祉 ■職人に訊く
- 逸店探訪 ■学びの現場から
- EXPERT'S EYE

卷頭特集

ECO-LOGY,
ECO-NOMY,
and EGO-ISM

誰が為のエコポイントか





代表社員
税理士 野口省吾
行政書士

あいはら 「ガイア」さんでは600にものぼるクライアントを抱えていらっしゃると伺っています。それほどの数の企業を支えていくのは大変だと思いますが、このお仕事の魅力とは何でしょうか。

野口 経営者のパートナーとして、企業を支えることができる点でしょうか。仰るとおり、この仕事は本当にハード。しかも実は、今ちょうど3月決算の処理の真っ最中でして、スタッフ一同泊まり込みも辞さない覚悟で頑張っているところなのです。ですが、そうした厳しさの反面、この仕事はお客様と強い信頼関係を築けますし、だからこそ本音でぶつかり合えるという楽しさがあるんです。私は、そこに大きな魅力とやり甲斐を感じ

経営者と共に闘い抜く! “熱い”税理士法人「ガイア」

ギリシャ神話の女神、或いは地球という意味の言葉をその名に冠する「税理士法人 ガイア」。顧客を守り、また共に闘い抜く、という信念が込められている。誠意と信頼、適格性を重んじて、クライアントと固いパートナーシップを築いている同事務所を率いるのは、税理士、行政書士として活躍する野口省吾氏。本日は、野口代表にあいはら友子さんが話を伺った。

ますね。

あいはら お客様と共に歩んでいくという感覚でしょうか?

野口 共に闘う、そう言った方が近いと思います。単なる税務会計業務に留まらず、お客様と一緒に予算を考えたり、それを達成するための戦略を練ったりもしていますから。当社のクライアントには新進の中小企業が多いのですが、そういう企業は常に生き残りをかけて闘っています。私自身駆け出しの頃は苦労しましたから、そういう企業経営者の方とお話しすると、支えたい、やる気のある経営者をサポートしたい、と気持ちが熱くなるんです。

あいはら 野口代表ご自身、非常に熱い方とお見受けしました。会社の雰囲気も体育会系ですね。皆さんきびきびしている感じです。

野口 ありがとうございます。実は私は、

経営者として常に前向きであることを心掛けているんです。士気の高い人というのは、アグレッシブな人の元に集まってくれるもの。熱い気持ちを持った人材を引き寄せるために、私自身が常に向上心を持つよう努めているんですよ。お陰様で、当社のスタッフはやる気に溢れた人間ばかり。彼らの成長も楽しみの一つです。

あいはら それでは最後に、今後の展望をお聞かせ下さい。

野口 当社は、2008年1月に父の経営していた「野口会計事務所」と合併し、大きな前進を遂げることができました。それを契機に、スタッフにも一層力がついてきたなという手応えを感じています。これからは、レベルアップしたそれぞれの強みを発揮しつつ、一枚岩の闘う集団として、より力強いサポートを提供していきたいですね!

(取材 / 2009年5月)



「熱く、的確なアドバイスが期待できます」

「税理士一家の出だという野口代表。ご両親が企業のために力を尽くす姿を見て育ったため、ご兄弟全員が税理士の道に進んだとか。驚いたのは、経営者になるための経験を積みたいという代表の考えから、あえてお父様の事務所には就職せず、しかも8年半にも亘る修業後は妹さんと独立されたということです。常に自分で道を切り拓いてきた代表だからこそ、経営者にも的確なアドバイスができるのでしょうか。これからのご活躍を期待しています!」

GUEST COLUMN



ゲストインタビュアー
あいはら 友子